

案件概要書

2015 年 8 月 25 日

1. 基本情報

- (1) 国名：ミャンマー連邦共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：マグウェイ地域マグウェイ市、タニンダーリ地域ダウエー市
- (3) 案件名：地域総合病院整備計画
(The Project for Improvement of Regional General Hospitals)
- (4) 事業の要約：本事業は、マグウェイ地域及びタニンダーリ地域において、中核病院である州／地域総合病院の施設・機材を整備することにより、これら病院の医療サービスの向上を図り、もって住民の生活向上に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国における保健医療セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け
ミャンマー連邦共和国の保健医療セクターにおいては、近年改善が見られるものの、依然として母子保健（2014 年 5 歳児未満死亡率：出生千対 72）や感染症（2010 年マラリア死亡率：人口 10 万人対 6.8）の状況は悪く、引き続き対策が必要である。特に、2014 年度の人口調査の結果、マグウェイ地域では 5 歳児未満死亡率は出生千対 108、タニンダーリ地域では同 84 と上記全国平均より高い。

また、同国では、保健・医療サービスの提供の体制として、規模の大きいものから「国立病院（専門病院を含む）」、「州／地域総合病院」及び「郡病院、タウンシップ病院、ステーション病院」が存在し、州／地域総合病院は、郡病院以下の病院からの患者の受入れ等、地方の医療サービスの中核を担っている。加えて、郡病院以下の医師及び看護師等の保健人材の育成も行っている。しかしながら、2014 年度に JICA が実施した地方の拠点病院に関する情報収集・確認調査の結果、マグウェイ及びタニンダーリ地域の州／地域総合病院であるマグウェイ総合病院及びダウエー総合病院では施設・機材の老朽化により、適切な保健医療サービスの提供及び保健人材の育成が困難な状況になっていることが判明した。また、両病院の病床占有率は 100%を超えており、病床数不足により患者に対する療養環境は劣悪な状況となっている。両地域における保健医療サービスの向上及び保健人材能力強化のため、両総合病院の施設・機材の整備は喫緊の課題である。

当国では、「国家保健政策」や「国家保健計画 2011-2016」下で 11 の事項に取り組んでおり、うち「病院ケアの向上」では、施設の整備、十分な医療人材・物資（機材・医薬品等）の配置及び研修による医療人材育成等によって、病院における医療サービスの質の向上を目指している。本事業はこれら政策・計画を実現する方策として位置付けられる。

(2) 保健医療セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

対ミャンマー経済協力方針（2012 年 4 月作成）の「①国民の生活向上のための支援（少数民族や貧困層支援、農業開発、地域の開発含む）」の中で、医療・保健は中心分野として取り上げられており、本事業は同方針に合致する。過去の主な支援実績として、無償資金協力「カヤー州ロイコー総合病院整備計画」（2013 年度）や「シャン州ラーショー総合病院整備計画」（2014 年度）等がある。

(3) 他の援助機関の対応

開発パートナー（世界銀行、WHO、UNICEF、USAID 等）の支援は、母子保健や感染症対策に重点を置き、インフラ整備では、これらの活動の基軸となるタウンシップ・レベルのプライマリ・ケアを提供する医療施設整備を行っている。

(4) 本事業を実施する意義

マグウェイ総合病院及びダウエー総合病院で対応できない患者は、それぞれマンガレー及びヤンゴンの総合病院に搬送される。しかし、交通インフラ状況が悪く輸送手段も限られており、かつ患者が負う財政的負担も大きい。マグウェイ総合病院及びダウエー総合病院で住民にとって必要な時に質の高い医療サービスが受けられないことは人命に関わる死活的な問題であり、個人の尊厳、生命、生活に対する脅威でもあることから、人道上のニーズの観点から無償資金協力として本事業の実施を支援する必要性及び妥当性は高い。また、当国の開発課題・政策及び我が国の経済協力方針に合致し、かつ全世界の人が基礎的保健医療サービスを受けられるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の推進を掲げた我が国の「国際保健外交戦略」（2013 年策定）等、重要政策に資する案件でもある。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

本事業は、マグウェイ地域及びタニンダーリ地域において、中核病院である州／地域総合病院の施設・機材を整備することにより、これら病院の医療サービスの向上を図り、もって住民の生活向上に寄与するもの。

② 事業内容

i. 施設、機材等の内容：（協力準備調査にて確認。）

建築工事：マグウェイ総合病院及びダウエー総合病院の施設建替または改修

機材：マグウェイ総合病院及びダウエー総合病院の医療機材等の調達

ii. コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：協力準備調査にて確認

iii. 調達・施工方法：協力準備調査にて確認。

③ 他の JICA 事業との関係：保健医療サービスの質の向上に資する人材育成のため、全医科大学を対象に技術協力「医学教育強化プロジェクト」及び長期研修「医科大学教員」（両事業とも 2015～2019 年）を現在実施している。マグウェイ総合病院はマグウェイ医科大学の教育病院を兼ねていることから、本事業はこれら活

動を相互補完し得るものである。ダウエー総合病院については、上記「医学教育強化プロジェクト」下での協力の可能性に関して、今後保健省と協議する。

(2) 事業実施体制

- ① 事業実施機関／実施体制：保健省（Ministry of Health）
- ② 他機関との連携・役割分担：特に無し。
- ③ 運営／維持管理体制：保健省は JICA の技術協力・無償資金協力を数多く実施した経験を有していることから、事業実施・財務面で一定の能力を持つと考えられる。詳細は協力準備調査にて確認する。

(3) 環境社会配慮

- ① カテゴリ分類 ☐A ☐B ☒C ☐FI
 - ② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。
- (4) 横断的事項：協力準備調査にて確認する。
- (5) ジェンダー分類：協力準備調査にてジェンダー主流化ニーズを確認する。
- (6) その他特記事項：ダウエーでの協力については、日本、ミャンマー及びタイ政府で協議されているダウエー経済特区の開発に関する動きに留意する。

4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

カンボジア王国「バンティミエンチャイ州モンゴルボレイ病院改修計画」の事後評価結果等では、保健省から同病院への医療機材修理のための資金や医療・事務に係る人員の割り当てが不十分であったため、施設・医療機材の維持管理が問題として生じたことから、対象国における恒常的な機材維持管理の予算確保、担当人員の配置、調達据付機材のスペアパーツの調達に係る現地の代理店との維持管理契約状況等を入念に検討して選定するよう指摘されている。本事業においては、調査過程で予算及び人員確保及び技術力に留意し、先方から施設・機材の運営維持管理に最低限必要な予算・体制の確保について合意を得るとともに、現地で代理店契約が締結可能な業者の有無を確認しつつ機材計画を策定する。

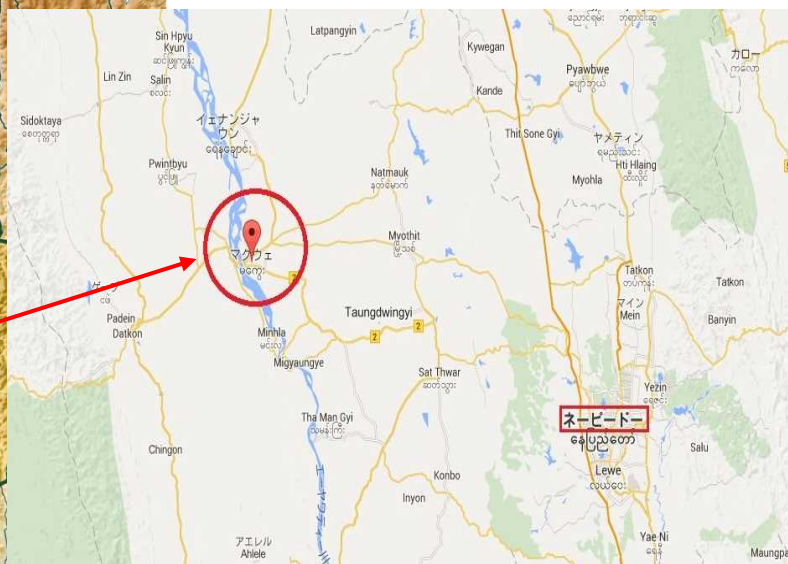
以 上

[別添資料] 地図

地域総合病院整備計画 地図



マグウェイ総合病院



ダウエー総合病院

